



財団だより

107



一般財団法人 横浜総合医学振興財団

理事長 後藤 英司 (五〇年卒)

倶進会の皆様には日頃からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年来、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、WHOがまとめた一週間の感染状況によりますと、八月には日本の新規感染者数が世界最多となり、死者数は米国に次いで世界二位となっております。社会生活、医療、経済に深刻な影響が及んでいますが、日々、第一線で奮闘されておられる横浜市立大学の附属二病院、協力病院、診療所の先生方にはあらためて感謝申し上げます。

このような背景があり、当財団では令和二年度から「新型コロナウイルス感染症の研究や診療活動」を支援しております。今後も感染症が収まるまで、この分野の学術研究等への助成事業を続けたいと考えております。

また、当財団は創立三十年の歴史をもち、発足以来「若手の学術活動」への支援を重視しています。本年度もこの方針を維持します。昨年度からの「がん研究助成」その他の助成も含めて選考が終了しましたのでここに報告致します。

令和四年度の助成選考結果

助成申請の公募を四月十八日に開始し、

受理した申請書(五十二件)について、各選考委員会が七月から九月にかけて順次開催されました。
採択件数は計二十二件(昨年度十九件)、研究等の助成総額は約一〇三二万円(同九六五万円)でした。採択された研究等助成申請は、別表のとおりです。

事業の完遂に向けて

貴重な基金やご寄附を原資とする助成事業ですが、その種類および金額は、毎年度、予算を審議する理事会で決定しています。

今年度は、昨年度に新設した「がん研究助成」を継続することにしました。本助成では、がんの死亡率減少に資する臨床研究と、患者・家族の療養生活の質の向上に資するがんサバイバーシップ研究を支援します。

新型コロナウイルス感染症関連では、同感染症の診断、治療等に資する基礎および臨床研究を支援します。

助成財団として今後も神奈川県内の医療水準の向上、県民の健康の保持、増進に貢献するために、多様化するニーズや社会情勢の変化に対応し、真に必要なとされる事業を行いたいと考えています。

賛助会員とご寄附に心から感謝申し上げます

財団賛助会員の会費は研究助成資金の主要な柱となっております。倶進会の先生方をはじめご加入いただいている多くの方々に心から御礼申し上げます。

賛助会員の皆様には会費(年一万円)をお願いしております。ご賛同いただきました方々のご芳名を財団の年報とホームページに掲載して長期にわたり敬意を表する形とさせて頂きます。ご加入とご寄附の状況は令和四年三月末現在、次のとおりです。

会費総額 二八六万円(会員数二八六名)
寄附総額 約一三二万円

倶進会会員皆様方にはどうか引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



一般財団法人
横浜総合医学振興財団

ご支援のほど宜しく
お願いいたします。

賛助会員加入・ご寄附の申し込みは
電話：045-788-8635
メール：yokohama-zaidan@yfams.or.jp
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9



令和4年度助成事業

I 医学・医療の学術研究への助成

(1)わかば研究助成 計10件 498万円

応募件数28件

採択率36% (単位:万円)

受領者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
久保 創介	非小細胞肺癌における micro RNA による PD-L1 発現制御機構の検討	横浜市立大学附属市民総合医療センター・助教	50
古宮 裕泰	全身炎症による ALS 病勢促進の機序解明	横浜市立大学附属病院 脳神経内科・脳卒中科 指導診療医	50
石川 祐	カニクイザル精巣を用いた霊長類の体外精子形成法の構築	横浜市立大学医学部・助教	50
神巻 千聡	免疫チェックポイント制御メカニズムの解明	横浜市立大学附属病院 呼吸器内科 助教	48
浦手 進吾	加齢性腎障害における ATRAP とグルタミン代謝の役割と関連性の解明	横浜市立大学附属病院 腎臓・高血圧内科 指導診療医	50
高山 裕太郎	非線形ダイナミクス解析を用いたヒトてんかんネットワークの時系列変容の解明～定位的頭蓋内脳波記録を用いた検討～	横浜市立大学附属病院 脳神経外科 指導診療医 大学院生	50
佐治 龍	拡張型心筋症に対する根治的治療薬の開発	横浜市立大学救急医学教室・大学院生	50
露木 翔	ErbB2 (Her2) 過剰発現・Tp53欠損型胃癌マウスモデルの構築	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科・指導診療医 大学院生	50
野上 麻子	顕性脳症患者の腸内環境の調査と新規治療法の探索	横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 助教	50
大島 聡人	BRAF 変異高悪性度神経膠腫の耐性機構獲得機序の解明	横浜市立大学大学院 医学研究科医科学専攻 博士課程2年	50

(2)新型コロナウイルス感染症研究助成 計2件 200万円

応募件数5件

採択率40% (単位:万円)

受領者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
西井 基継	治療抵抗性の新型コロナウイルス感染症における分子病態解析	横浜市立大学医学部 講師	100
東條 健太郎	肺胞上皮細胞のネクロシスを起点としたCOVID-19の重症化機構の解明と治療法開発	横浜市立大学医学部 麻酔科学講座・講師	100

(3)がん研究助成 計2件 200万円

応募件数8件

採択率25% (単位:万円)

受領者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
三宅 勇平	中枢神経系原発悪性リンパ腫の患者由来モデルを用いた治療耐性機序の解明	横浜市立大学医学研究科 脳神経外科学 助教	100
日暮 琢磨	若年性大腸癌のリスク因子としての F. nucleatum の役割の解明と新規予防法の開発	横浜市立大学医学部医学研究科 肝胆膵消化器病学 講師	100

(4)医療技術研究助成 計4件 60万円

応募件数7件

採択率57% (単位:万円)

受領者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
國光 真生	褥瘡創部の細菌叢の乱れ「ディスバイオシス」は創傷滲出液の pH と関連するののか—新規創傷ケアの開発に向けた横断観察研究—	横浜市立大学大学院 医学研究科看護学専攻 日本学術振興会特別研究員PD	30
TANG DI	麻酔期看護師が実施した全身麻酔における循環動態は、麻酔科医と比較して同等か?	横浜市立大学大学院 医学研究科看護学専攻 周麻酔期看護分野 博士前期課程1年	10
半沢 友理	周麻酔期看護師が実施する気管挿管の安全性に関する研究	横浜市立大学大学院 医学研究科看護学専攻 周麻酔期看護学分野 博士前期課程1年	10
保木 みか	1か月未満の児をもつ両親を対象とした育児に関する自己効力感を高めるための看護支援—妊娠期からの継続的な支援—	横浜市港北福祉保健センター・助産師	10

II 横浜市立大学の教育を支援

(1)学生・研修医の学術活動等推進支援助成 計2件 13.7万円

【応募受付中】

(単位:万円)

受領者氏名	企画名	所属機関等	助成額
山内 光	「臨床救急医学会」参加	横浜市立大学 医学部 医学科4年	3.7
斎藤 岳尋	「Wilderness Medical Associates Japan WALS (Wilderness Advanced Life Support) コース」受講	横浜市立大学大学院博士前期課程 看護学専攻2年	10

(2)学術講演会開催助成 計1件 10万円

【応募受付中】

(単位:万円)

受領者氏名	企画名	所属機関等	助成額
中村 京太	「世界患者安全の日のイベント」開催	市民総合医療センター 医療の質・安全管理 部長/診療教授	10

(3)先導的教育事業助成 計1件 50万円

【応募受付終了】

(単位:万円)

受領者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
藤田 浩司	臨床研修医が行う研修の「場」とその後のキャリアに与える効果についての検討:地域医療の観点から	横浜市立大学附属病院 臨床研修センター・講師	50